

# LB 1000

## 壁収納シリーズ 取り付け説明書

壁美人  
ホッチキス取付け

※「壁美人」の特許権・商標権はATZM社所有の権利です。

LBKB4042(W400/H420/D181)  
LBKB4066(W400/H660/D181)  
LBKB4082(W400/H820/D181)  
LBKB6242(W620/H420/D181)  
LBKB6266(W620/H660/D181)  
LBKB7842(W780/H420/D181)

LBKB4042313(W400/H420/D198)  
LBKB4066313(W400/H660/D198)  
LBKB4082343(W400/H820/D198)  
LBKB6242315(W620/H420/D198)  
LBKB6266315(W620/H660/D198)  
LBKB7842W313(W780/H420/D198)

この度はヒガシLB1000をお買い上げ頂きありがとうございます。  
組み立て・ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。  
組み立て後は大切に保管し、必要に応じてご再読ください。

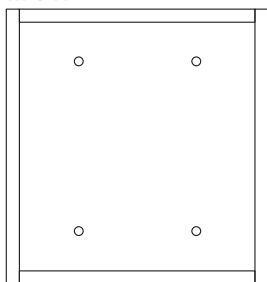
組み立て家具は、組み立て金具がゆるんだまま使用すると破損したり、落下してケガをすることがあります。時々、金具がゆるんでいないか点検し締め直してください。

株式会社 **ヒガシ** 本社 石川県金沢市湊1-92 TEL 076-238-9966

### 各部品の名称

セット内容 \*図はLBHS4042です。

棚本体×1

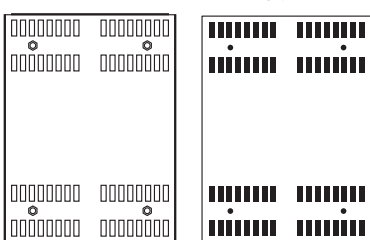


棚板×1

\*品番4082は×2

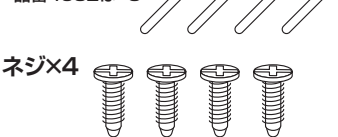


ベースプレート×1 ガイド紙×1



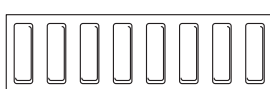
棚ピン×4

\*品番4082は×8

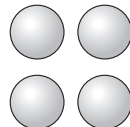


ネジ×4

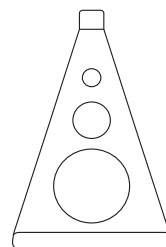
打ち込みフィルム×8



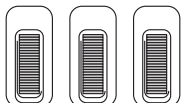
ネジキャップ×4



ホッチキス  
ガイド×1



専用ホッチキス針  
100本×3/パック

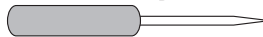


ご用意ください

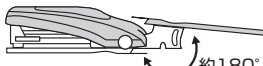
プラスドライバー-2号



キリ等



約180°開けるホッチキス

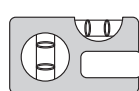


推奨ホッチキス:MAX社製 HD-10D

ガイド紙仮留め用  
テープ(弱粘着)



水平器



### 取り付け・ご使用にあたっての注意

地震等の天災、及び、取り付け組み立て不良による事故・損害については、一切の保証はございませんのでご了承下さい。  
当製品はお客様の組み立て及び取り付けの不備による事故について保証はございません。設置は説明書の手順に従い確実に行ってください。

- 安全を考慮し設置作業は十分なスペースを確保してください。
- 作業中のケガや、周囲の壁や家具に傷を付けないよう配慮してください。
- 取り付けは必ず二人以上で行ってください。

- 取り付け金具はLB棚の取り付け以外には使用できません。また、部品の改造等はしないでください。
- 設置中に問題が生じた際には作業を中断し、無理な設置はしないでください。

### 設置壁面の条件と設置後点検について



#### 警告

表示の内容を無視して誤った使い方をした場合に死亡、又は重傷等を負う可能性が想定される内容です。

設置場所

石膏ボードの壁面

重量制限

20kg以下まで

- 石膏(せっこう)ボード壁以外の壁面への取り付けは絶対にしてしないでください。

石膏(せっこう)ボード壁の見分け方  
ピンなどの細い針を壁の目立たない場所に刺します。刺したピンを抜いて先端を確認します。ピンの先端に白い粉がついていれば、石膏ボードの壁です。

上記の方法で判断がつかない場合、設置対象の壁にコンセントがあれば、コンセントカバーを外し壁の材質を確認します。コンセント穴の断面をドライバー等で軽くなぞり、白い粉がつくようであれば石膏ボード壁です。



ピン先に白い粉が付いていれば石膏ボード壁です。

- およそ半年に一回定期的にホッチキスの状態を確認してください。また、地震等で壁に振動があった後にも確認してください。

針とフィルムが浮いていた場合、再度ホッチキスを打ち直してください。また、打ち直しの際既存のホッチキス穴は避けてください。既存の穴と重なる場合やフィルムが傷んでいる場合はフィルムを交換してください。

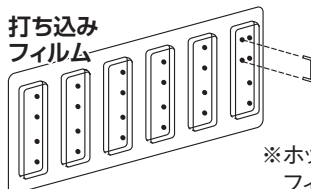
目視で確認



ベースプレートを目視し、フィルムの浮きがあったら、ホッチキスを打ち直します。



打ち込み  
フィルム



ホッチキスを打ち直す場合、既存の穴を使わず新たに穴を空けられる位置で打ってください。

※ホッチキス穴が重なると打てない場合、フィルムの交換が必要です。

## 設置場所と設置作業～設置後の取り扱いについて



### 注意

表示の内容を無視して誤った使い方をした場合に、傷害を負ったり物理的な破損・損害が発生する可能性が想定される内容です。

### ～設置場所について～

- 頭上落下の危険性がある往来が激しい場所、振動のある場所、または不安定な場所への設置は避けてください。

### \*頭上落下の危険性に注意

万一の落下があった場合に、事故の発生の原因になります。

- ぶら下がったり、寄りかかったり、故意に負荷を掛けしないでください。

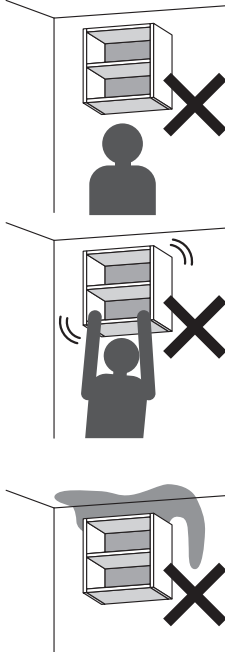
### \*ぶら下がり・寄り掛かり厳禁

その他、地震等の天災及び取り付け取り付け不良による事故・損害については、一切の保証はございませんのでご了承ください。

- 雨漏り等、水分を含んだ形跡のある壁には絶対に使用しないでください。

### \*水分で軟らかい場所厳禁

石膏ボードの強度が弱くなり、落下による事故の発生の原因になります。



### ～設置について～

- 設置の作業は、2名以上で行ってください。  
特に棚本体を持ち上げてネジ留め作業の際は、事故の無いように細心の注意を払ってください。
- お客様自身での部品の修理・改造は絶対にしないでください。  
商品の破損や落下による事故の発生の原因になります。
- 各部品やネジ類、ホッチキスは所定の場所に確実に取り付けてください。  
取り付けの不備は、棚の落下による事故の原因になります。

### ～設置後の使用時について～

- 棚本体を設置後に位置調整のために動かしたりしないでください。  
壁に棚本体を付けたまま、上下左右の調節を行うと壁に大きく負担がかかります。設置場所は事前に確認・決定し、どうしても変更する場合は棚本体を外し、ベースプレートの位置を変え取り付け直してください。
- 定期的にネジの緩み・ホッチキスの浮きが無いか確認し、締め直しや打ち直しを行ってください。  
締め直し・打ち直しをしても違和感やガタがある場合、即刻使用を中止してください。



### 確認

その他、設置に不適合であると思われる場所への設置は絶対に止めてください。

- 壁とプレートの歪みについて。  
ベースプレートには若干の歪みがある場合があります。平面の上に置いて1cm内の歪みでしたら問題ありません。また、壁に歪みがある場合もあります。その場合、プレートを強く壁に押し当てて、ホッチキスが奥まで打ち切るように設置してください。

## ホッチキス打ちの準備

### ホッチキスの使い方と打ち込み方

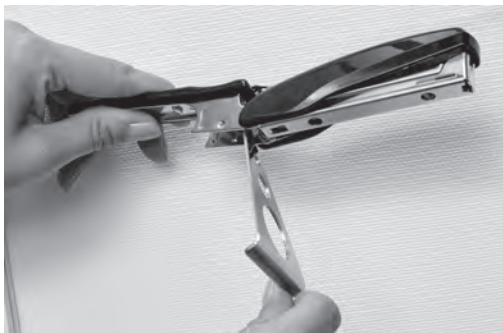
ホッチキスを正しく打ち込む事で、取り付け強度が最大限に発揮されます。ベースプレートの取り付けの前に打ち込みフィルムに見立てた不要な厚紙などを壁面の目立たない場所に打ち込み、作業のコツを掴んでおくことをお勧めします。

#### ① ホッチキスに同梱の専用針を充填

ホッチキスに同梱されている専用針を入れます。ホッチキスの中に使用中の一般針がある場合は全て取り出し、専用針と交換してください。

#### ② ホッチキスを開いてガイド金具を取り付け

ホッチキスを180°開き下の写真を参考に同梱のホッチキスガイドを取り付けます。

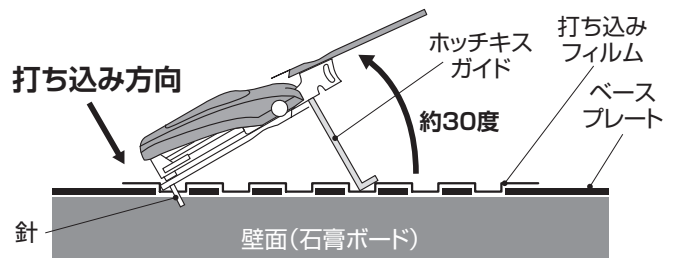


#### ③ ホッチキスの打ち方

ホッチキスガイドを取り付けた状態で、壁の目立たない場所などで数回試し打ちをします。

【注意】試し打ちには打ち込みフィルムは使わず、不要な厚紙等で代用してください。

- 1 打ち込みフィルムをベースプレートのスリット穴にあてがいます。
  - 2 ホッチキスガイドを壁面に付け、約30度の角度に保ち打ち込みフィルムに均等に当てがいます。
  - 3 ホッチキスが動かないように片手でしっかりと保持します。
  - 4 もう一方の手で打ち込み角度を保ちながら確実に針を打ち込みます。
- \*針が完全に打たれていない場合は、一度針を抜いてやり直します。



親指や手のひらを使い強く押し込んでください。



### 警告

ベースプレートの全てのスリットに必ず2本ずつホッチキスを打ってください。規定の本数(128本)を打たなかった場合は落下の危険があります。



## 取り付け手順

### ① 設置場所を決定

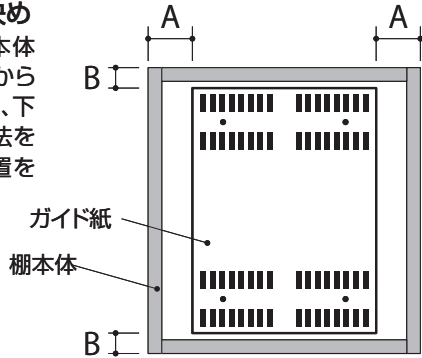
この説明書の注意事項をよく読み、安全で確実に設置できる場所を決定します。条件に合う壁面が決まったら、予め棚本体を壁面に当てて周囲に障害物が無いかを確認してください。

### ② 壁にガイド紙を貼る

お買い上げの棚本体のサイズ(本紙型番に記載)を確認し、ベースプレートの取り付け位置に型紙をテープで貼ります。テープは最後に剥がすので、取り付け型紙や壁紙を傷つけない弱粘性のものを使用します。

#### ●ガイド紙の位置決め

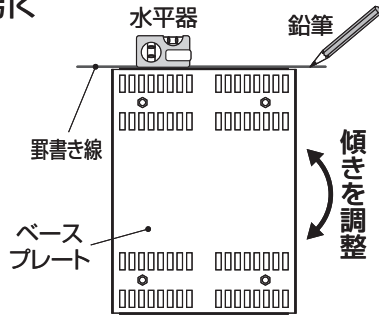
ベースプレートは棚本体の取り付け位置の端からA・B分内側になるので、下の計算式でA・Bの寸法を計算しガイド紙の位置を決めます。



$$\begin{aligned} \text{ガイド紙サイズ} &= W270 \times H360 \\ (\text{棚本体サイズ } W) - 270 \div 2 &= A \\ (\text{棚本体サイズ } H) - 360 \div 2 &= B \end{aligned}$$

#### ●水平を出し罫書き線を引く

水平器をベースプレートの上に乗せた状態で、取り付け場所の壁に押し当てます。ベースプレートの傾きを調整して水平を出し、鉛筆で水平線を罫書きします。

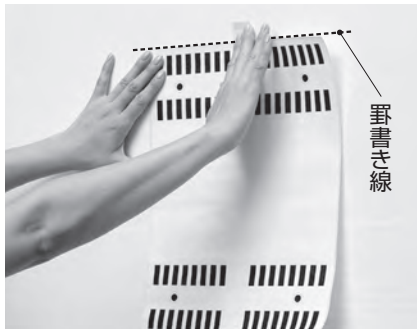


\*水平がわかる程度に薄く罫書きしてください。

#### ●ガイド紙を貼る

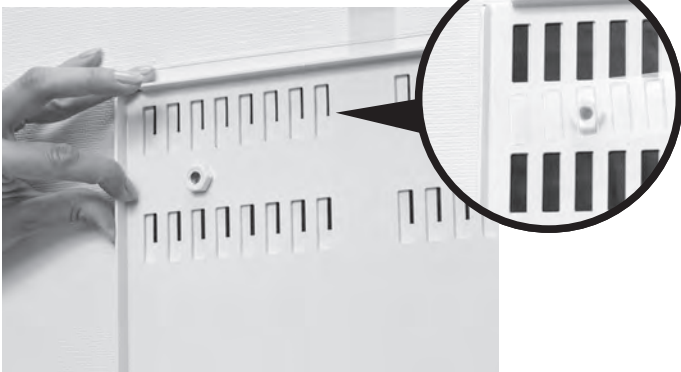
壁の罫書き線に沿って、弱粘性のテープでガイド紙を壁に貼ります。

\*このガイド紙を壁に貼ったままベースプレートを取り付けます。(テープのみベースプレート取り付け後に剥がします)



### ③ ベースプレートの取り付け-1

ベースプレートの全てのスリット穴からガイド紙の黒い部分が完全に見える位置に合わせます。



### ④ ベースプレートの取り付け-2

ベースプレートが動かないよう注意し、打ち込みフィルムをスリット穴の凹凸に合わせて重ね、しっかり押さえ込みます。

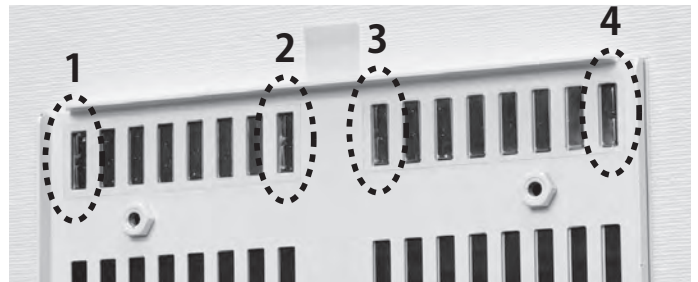


### ⑤ ベースプレートの取り付け-3

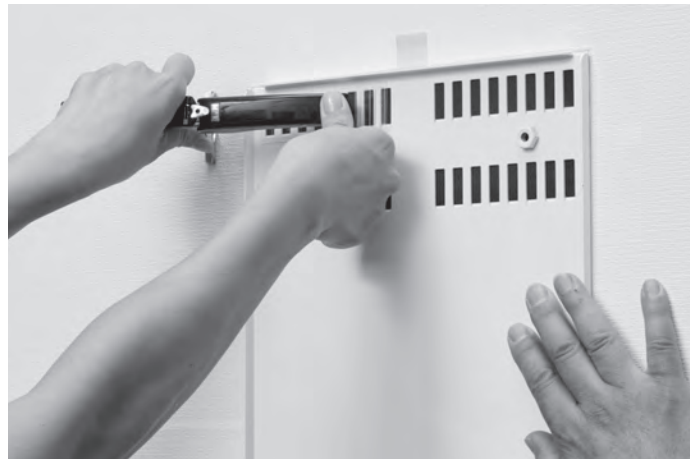
ベースプレートのスリット穴に打ち込みフィルムを重ねたままホッチキスを打ち込み固定します。このとき、1箇所穴に上下2本ずつホッチキスを打ってください。

#### ●打ち込み順序

最初に2枚のフィルムを下の順序で打ち込むと作業がスムーズです。



残りの全てのスリット穴に2本ずつホッチキスを打ち込んでください。



#### ●正しい打ち込み例

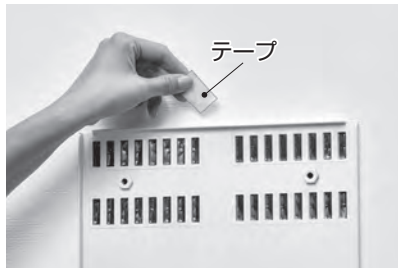


\*打ち込みフィルムは必ず8枚全て使用してください。

## ⑥ ベースプレートの取り付け-4

全てのスリット穴に打ち込みフィルムを打ち終わったら、ガイド紙のテープを上引くように剥がします。テープを剥がすときベース金具を浮かさないようご注意ください。

\*ガイド紙はそのまま残ります。



## ⑦ 棚本体の取り付け

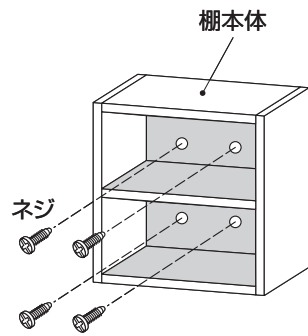
ベースプレートのネジ穴と棚本体のネジ穴を合わせます。棚本体とベースプレートに隙間が無いようにしっかり確認してください。



\*背板とベースプレートに隙間が無い  
か目視でしっかり確認してください。



棚本体の背板の4箇所の穴にドライバーでネジを取り付け固定します。



## ⑧ ネジキャップの取り付け

4箇所のネジにネジキャップを取り付けます。



## ⑨ 可動棚の取り付け

棚本体の左右の側板に棚ピン4本を差し込み、棚板を取り付けます。棚板はピンの溝がある面を下向きに取り付けてください。

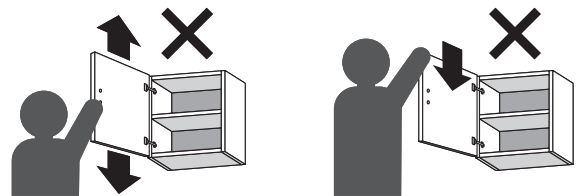


### 木扉付きタイプをご購入のお客様へ

木扉付きタイプは「⑨可動棚の取り付け」の後に、木扉の取り付け作業が必要です。取り付け方は木扉キットに付属している組立説明書の手順に従い取り付けてください。



**注意** ●開けた木扉を持って上下に力を加えたり、上から押さえつけて荷重を掛けないでください。



\*開いた木扉に荷重がかかるとベースプレートが浮いたり外れる恐れがあります。

## 撤去の手順

### ① 棚本体の分解

組み立て手順と逆の順序で棚本体を外していきます。

- 1 可動棚を外し、棚ピンを抜く
- 2 ネジ穴シールを剥がす
- 3 棚本体の4箇所のネジを外す
- 4 ベースプレートから棚本体を外す

### ② ベースプレートの撤去-1

最初にホッチキスのリムーバー（針外し）で、打ち込みフィルムの一方向の針2本を外します。



### ③ ベースプレートの撤去-2

最初に針を外した打ち込みフィルムの端を持ちゆっくり持ち上げ、隣のスリット穴から順に針を浮かせば打ち込みフィルムを外せます。



### ④ ガイド紙を取り除く

8枚全ての打ち込みフィルムを外し、ベースプレートを撤去して最後に壁に残ったガイド紙を剥がして完了です。

